

（出題意図および解答例）

1.

【出題意図】

文化人類学の学説史における構造機能主義の問題点について十分に理解できているか。

【解答例】

「文化変容や歴史性を考慮しないモデルだから」、「社会を類型化することにより研究が自己目的化してしまうことがあるから」、「当該社会の内部における多様性を考慮できないから」、など。

2.

【出題意図】

文化人類学の学説史における文化相対主義の問題点について十分に理解できているか。

【解答例】

「文化様式 cultural patterns という概念がバイアスやステレオタイプを生むから」、「文化相対主義の基礎である心理主義的な文化観が破綻していることが明らかになったから」、「文化相対主義の主な手法である異文化間比較は、あらかじめ想定された結論に操作されがちだから」など。

3.

【出題意図】

民族誌がルポルタージュではなく、学術的な価値を生み出す知の方法であることを認識できているか。

【解答例】

「インフォマントの話の内容を性急に客観的事実と決めつけず、あくまでの現地の人のリアリティを語る言説として扱う」、「発話のニュアンスや社会文化的背景についてじゅうぶんに留意してデータ化する」、「理論書や異なる地域における工芸の民族誌などを渉猟することによって、フィールドデータの位置づけを図る」など。